



2026年1月30日

各位

会社名 株式会社 W e l b y
代表者名 代表取締役 比木 武
(コード番号: 4438 東証グロース)
問合せ先 コーポレート部 副部長 中沢 大樹
(TEL. 03-6206-2937)

特別損失（減損損失）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年12月期において、特別損失（減損損失）の計上を行いました。

また、本日開催の取締役会において、2025年8月13日に公表いたしました2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）の通期の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当社の保有する固定資産（ソフトウェア等）について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、直近の業績の動向を踏まえ、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、94百万円を減損損失として計上することといたしました。

2. 業績予想の修正

（1）2025年12月期通期業績予想の修正

（2025年1月1日～2025年12月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 連結当期純利 益
前回発表予想（A）	百万円 1,152	百万円 △86	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想（B）	635	△452	△454	△539	△65.21
増減額（B－A）	△516	△367	—	—	—
増減率（％）	△44.8	—	—	—	—
（参考）前期実績 （2024年12月期）	528	△654	△655	△804	△98.61

（2）差異が生じた理由

以下の理由により、売上高の見通しは635百万円となり前回予想を516百万円下回る見通しとなりました。

- ① 売上高については、疾患ソリューションサービスにおいて、主要顧客である外資系製薬企業の決算が集中する第4四半期会計期間に売上が顕著に大きくなるという当社の業績の季節的変動性がある中、同四半期に売上高を実現するための営業及び納品を進める過程で、当初想定案件の受注未達及びPHR(※)サービス及び当社のPHRプラットフォーム案件の長期化による受注期ズレ等により社内予想616百万円より279百万円減少し337百万円となる見込みとなりました。PHRプラ

ットフォーム案件については、2026 年 12 月期の売上計上に向けた受注は堅調であり、安定的な収益を実現できる見込みです。

- ② Welby マイカルテサービスにおいては、株式会社 Welby ヘルスケアソリューションズにおけるみなし検診事業及び重症化予防事業といった保険者向け事業の商品開発及び事業開発の遅れ、及び当社においてヘルスケア事業に新規参入する企業に対しての受注未達及び受注期ズレ等により社内予想 536 百万円より 237 百万円減少して 298 百万円となる見込みとなりました。株式会社 Welby ヘルスケアソリューションズにおいては、既に複数の保険者にてみなし健診及び重症化予防への参画が決定しているため、2026 年 12 月においては参画する保険者数が拡大し、売上成長が実現する見込みです。

売上総利益については、売上高の減少により減少しましたが、売上総利益率としては PHR プラットフォーム基盤の継続強化のための開発投資による開発コストの低減により社内予想より 0.9%良化し、70.6%となる見通しとなりました。

以上の結果、連結売上高、連結営業利益は上記のように前回予想を下回る見通しとなりました。

※「PHR」とは、個人によって電子的に管理される自らの健康・医療情報のことを指します。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上